

— 2019. 8月5日(月)～7日(水) —

ニュースレター No. 2

【概要】

令和元年8月5～7日に、2泊3日の日程で、今年度2回目の「ありみね高校生学びの森」を、28名の高校生と17名の高校の先生方を講師にお迎えして開催しました。

初夏の有峰で、森の中を散策し、動植物の観察などの学習を通じて有峰の自然を体感していただくため、高校生と講師が一体となって学びました。

旧有峰ハウスの使用を中止したことにより、今年は動物班の内業を、すべてビジターセンターで対応しました。

初日は10:15に有峰ハウスに集合し、主催者である有峰森林文化村吉江次長からの挨拶で始まり、講師総括の堺先生より挨拶を頂いた後に動物班(細口)・植物班(氷見)の各講師より今回の活動内容の説明を聞きました。

その後、冷タ谷キャンプ場へと移動し生徒と講師一緒に楽しく昼食を取り、午後から本格的な活動に入りました。植物班は昨年と大きく行程を変え、動物班と同じ場所の西谷での活動としました。

植物班は西谷の奥、標高1170m付近の夏緑樹林帯で方形区毎木調査を実施しました。動物班は例年どおり西谷川の溪流に入り魚・両生類・水生昆虫の採集をしました。動物班は西谷での採集が終わった後は、桐山に移動してネズミを捕獲するシャーマントラップと昆虫を捕獲するホールトラップを仕掛け、桐山の土壌も採取しました。それから猪根平に移動しましたが突然の激しい雷雨に見舞われ有峰ハウスでの待機を余儀なくされました。その頃、植物班は西谷での方形区毎木調査を終え、迎えのバスで有峰ハウスに向かいました。植物班はハウス内での内業で本日調査したデータ整理と活動発表の内容に向けて、役割分担を決めました。

夕食後には雨が上がり、動物班はビジターセンターに集合し夜の活動に入りました。まずは動物班を5グループに分ける為、20分間隔のローテーションで各グループ講師のプレゼンテーションをしました。①昆虫②水生昆虫③魚類・両生類・爬虫類④哺乳類⑤土壌動物のグループ分けをし、植物班は夕食後もハウス内で資料の整理を行いました。

2日目、動物班は6:00に桐山へ向かい、昨日仕掛けておいたシャーマントラップとホールトラップを回収しました。捕獲したネズミはアカネズミ15匹(捕獲率50%)で例年になく捕獲率が高かった。ホールトラップではオサムシ+カマドウマ+ガガンボなどが捕獲出来ました。朝食後、動物班は猪根山遊歩道を散策し昆虫採集調査をしました。ヒメキマダラヒカゲ、ハナカミキリ等、他3種類の昆虫を捕獲しました。その頃、植物班は折立遊歩道を散策しながら講師と共

に折立の植生の変化を調査しながら途中、5か所でライントランセクト調査を行いました。午後からは植物班と動物班と一緒に折立の真川に移動して、水生昆虫採集に入りましたが1時間もしないうちに天候が急変し雷が鳴りだしたので堺講師（総括）と相談し安全を第一に急遽、活動を中止し、ビジターセンターに戻りました。センターに戻ってから動物班はセンター内で、植物班は有峰ハウスで資料の整理とまとめ作業に入りました。16:00には雨が上がったので動物班は猪根平に出て、2回目のネズミ用シャーマントラップを仕掛けて当日の野外活動は終了しました。

3日目、早朝に動植物班合同で昨日仕掛けたシャーマントラップを回収しました。2回目もヒメネズミ2匹、アカネズミ15匹と採集率は56.7%と例年ない成果が出ました。朝食後は各班それぞれに今回活動のまとめに入りました。植物班は有峰ハウス内で講師のサポートをもとに成果発表の報告資料を作成し、動物班はビジターセンター内で講師のアドバイスを受けながら成果発表の報告資料を作成しました。昼食を終え、全員の有峰記念館3Fに移動して、13:00より今回活動の調査報告発表会を開きました。

調査報告発表では、各グループがこの3日間の成果を各班がパートに分かれて生徒全員が発表しました。生徒からは今回の活動に対する感想文とアンケートを書いてもらい、講師にも同様にアンケートを記入してもらいました。統括の堺講師から総評をいただき、主催者側の吉江次長よりメの挨拶をしてもらい、最後に参加者全員で記念写真を撮り活動を終了しました。

今回は3日間を通し午後から天候が悪くなるというアクシデントに見舞われ十分な活動ができなかったが、事故もなく無事本行事を終了することが出来ました。